



議会だより

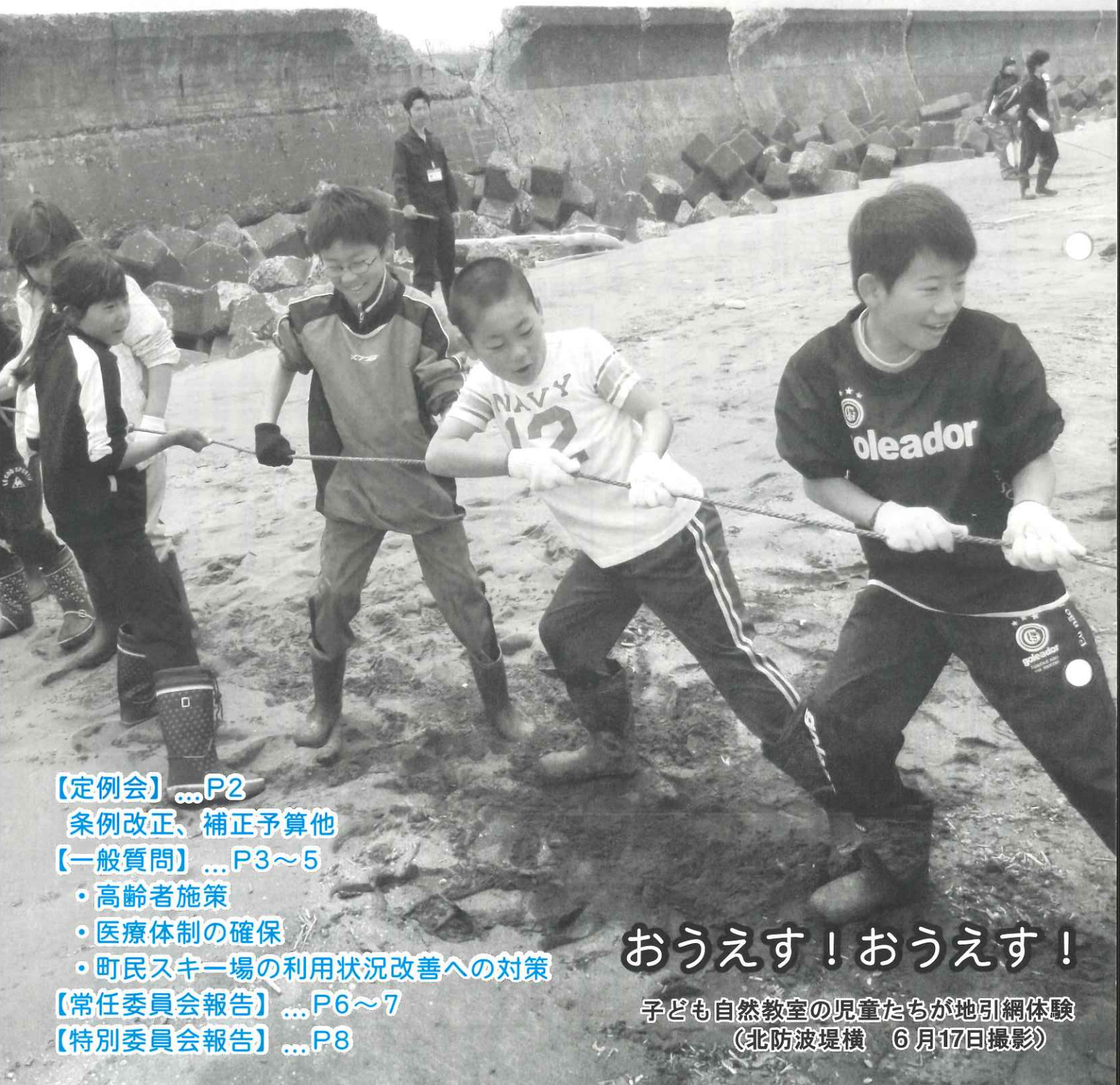
# ピツシリ

第103号

2017年

7月26日

発行



【定例会】...P2

条例改正、補正予算他

【一般質問】...P3~5

- ・高齢者施策
- ・医療体制の確保
- ・町民スキー場の利用状況改善への対策

【常任委員会報告】...P6~7

【特別委員会報告】...P8

## おうえす！おうえす！

子ども自然教室の児童たちが地引網体験  
(北防波堤横 6月17日撮影)

ぜひ議会の傍聴にお越しください

今回の定例会は **9** 月です

■発行：北海道羽幌町議会 ■編集：議会広報特別委員会  
北海道苫前郡羽幌町南町1番地の1

議会事務局 TEL (0164) 68-7011 FAX (0164) 62-1278

◎報告－3件 ◎承認－4件

◎議案－7件 ◎同意－1件

◎発議－2件 ◎意見案－1件

◎一般質問－3名

平成29年

# 第4回定例会

平成29年6月15日～16日



## 第1次定期監査

町監査委員により5月22日から23日まで、財政に関する事務の執行状況を関係書類・帳簿等で内容を確認し、関係職員からの聞き取りにより実施。

監査対象は、焼尻支所、焼尻小・中学校、天売小・中学校、天売高等学校、天売支所。適正な執行に努められたと確認されたことが報告された。



北海道天売高等学校

【焼尻・天売島内 児童・生徒・学級数】(H29/5/1現在)

学年	1	2	3	4	5	6	計	
天売小	児童数	2	3	3	1	-	1	10
	学級数		1		1		1	3
焼尻小	児童数	-	3	-	1	-	-	4
	学級数			1			-	1
天売中	生徒数	1	4	2	/			7
	学級数		1	1				2
焼尻中	生徒数	-	-	1				1
	学級数	-	-	1				1
天売高	生徒数	2	3	-				5
	学級数	1	1	-				2



## ■一般会計補正予算

### 【主な補正内容】

羽幌中学校のプール解体は町内業者の地域貢献活動により行われたため等。  
△1208万円

・庁内ポイラー取替工事  
723万円

・特産品販売PR事業  
106万円

・郷土芸能団体保存育成事業  
250万円

・天売高校学生寮の為に取得建物購入費  
2006万円

土地購入費  
111万円

### □工事請負契約の締結

天売教職員住宅主体工事の契約を締結した。

・契約先 (株)行町工業所  
契約額 6420万円

※契約予定価格が5000万円を超えるため、議会の議決が必要。

□物品購入契約の締結  
除雪ドーザ(11トン級)購入契約を締結した。

・契約先 (有)羽幌自動車工業  
契約額 2067万円

※契約予定価格が1500万円を超えるため、議会の議決が必要。



安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書

### 【主な内容】

・夜勤回数の制限など、労働環境改善の規制を設けること。

・夜勤交代制労働者の労働時間を短縮すること。

・介護施設などの一人夜勤を早期に解消すること。

### ■全員賛成にて可決

### ◆継続調査・審査◆

【総務産業常任委員会】

・離島視察(めん羊牧場等)  
・農漁業の現状と就業・後継者対策

【文教厚生常任委員会】

・離島視察(焼尻郷土館、天売焼尻診療所等)  
・産業廃棄物処理

・羽幌小学校改築事業進捗状況

◆議員の派遣◆  
・道内行政視察(芽室町・安平町)

・全道町村議会議員研修会

・議会広報研修会

・留萌管内町村議会議員研修会(初山別村)他

逢坂 照雄 議員



# 問 高齢者への施策さらに充実を

## 答 支援体制を段階的に進めていく

高齢者が安心して暮らせる羽幌町をつくるための取り組みや施策は。

問 認知症高齢者などへの日常生活支援強化策は。

答 認知症の施策は重要である。サービス提供の充実や地域連携・相談支援の取組み、認知症の早期診断・早期対応に向けて段階的に支援体制を構築していく。

問 公的介護・在宅介護・生活支援の担い手をどのよう確保していくのか。

答 少子高齢化の進行により介護職の不足は大きな課題である。昨年度から介護従事者の確保と質の向上に取組み、介護サービス資格の取得や更新を行う者に経費の助成を始めている。

問 町内認知症グループホームの介護職員不足への支援は。

答 全体的な底上げの必要な手当てを行っているが、個別についての支援は考えていない。



羽幌町立特別養護老人ホーム「しあわせ荘」

問 老人世帯・一人暮らし高齢者の見守り強化について、どのように取組んでいるか。

問 見守り強化のために、役場職員独自の見守り隊を作って、高齢者のさまざまな意見や要望を直接聞き取るシステムを作る考えはないか。

答 介護する家族の負担を軽減するため、各種の相談に応じ、関係機関との情報共有の中で、はいかい高齢者SOSネットワークへの登録や緊急通報システムの設置、町内事業所との見守り協定を締結するなど協力体制を構築している。

答 各町内の事業所、郵便局やコンビニなどさまざまな所と提携をして見守りを行っている。職員も合理化で減っている状況の中で、余裕がないためもうしばらく時間をいただきたい。

問 冬期間における、屋根の雪下ろし助成制度を設ける考えはないか。

問 この助成制度を今後の継続検討事項として残す考えはないか。

答 高齢者への雪に関する支援としては、日常生活や緊急時の通路確保を目的とした除雪サービスを実施している。屋根の雪下ろし助成については、平成27年に一般質問があり、その後の検討結果として、屋根や家屋周辺については、それぞれ個人の管理として行うものと考えていることから、高齢者に対しては、それぞれ個人の管理として行うものと考えている。



羽幌町すこやか健康センター (健康支援課)

平山美知子 議員



# 問 専門医の常勤配置の確保を

## 答 総合的な診療体制の維持を優先したい

### 医療体制の確保

な診療体制を維持していくことを優先したい。

問 4月から道立羽幌病院において、総合診療医が配置され、外科・整形外科医の常勤医師の配置がなされていない。総合診療医は初期診療に対応でき、専門医師がいなくても患者を受け入れることができるというのは、期待されることだが、羽幌町は高齢化が進んでおり、特に常勤の専門整形外科医の配置が望まれるところではないかと考える。また、現在でも「地元で出産できるように」と声が聞かれている。長期間入院できない現状で、町内にある民間医療機関の存在に「助かるよ」と言う声も聞かれている。

外科・整形外科・産婦人科医の常勤医師の確保についてどのように考えているのか。

答 常勤医師の確保については大変重要であると認識している。専門医を望む声があることは承知しているが、常勤の専門医にこだわらず、総合的

問 留萌市立病院・町内の民間医療機関との連携強化が必要と思うが。

答 それぞれの医療機関が、地域・圏域の中で役割や機能を分担し協力しつつ、地域の医療を支えていただかなければならないと考えており、留萌区域地域医療構想調整会議の中でも将来の医療の在り方を検討しながら、連携体制を継続していく。

問 道立羽幌病院の4階病棟が休床になっている。活用の方法を強く要望していくことも必要と思うが、どのように考えているか。

答 平成21年7月に休止し、以来、活用されないまま今日に至っており、この状況が続くことが地域にとって望ましいことではないとの思いは議員と同じである。これまでも北海道や圏域の町村と協議や検討を行い、病院としての活用なのか、ま



北海道立羽幌病院



運用休止中の4階病棟を視察

たは転用なのか議論しているが、道立病院局や羽幌病院と情報を共有しながら圏域の町村と連携し、病院の利用促進を考える中で、4階病棟の活用も含めて協議していく。

問 医療体制は、今後どうあるべきと考えているのか。

答 道立羽幌病院が圏域のセンター病院としての診療体制を確保し、天売・焼尻診療所と連携体制が図られていくこと。また、町内の民間医療機関や圏域の病院と役割分担

をしながら、それぞれの機能を発揮していただくことが重要であると考えている。町民が望む診療体制の確保を求めていくことが、理想とは思いますが、管内、道内の医療環境を考えると、望む全てを構築することは困難な状況であると考えている。4月から道立羽幌病院では総合診療が始まっている。このことから、この診療体制の経過を見ながら離島の体制も含め、今後においても北海道と協議していく。

金木直文議員



# 問 スノーボードのための整備は

## 答 要望も聞きながら検証・検討したい

### 町民スキー場の利用状況改善への対策

**問** 町民スキー場「びゅう」が平成10年に羽幌町中央地区に設置されて、今年で20年目を迎える。開設当初のリフト利用者は年間9万人を超える利用があったが、昨シーズン（28年度）の利用者は初めて4万人を下回るまで減少した。人口の減少と高齢化が進みつつあることから、利用者の減少も致し方ないところはあるが、近年のスキー場利用者のニーズの把握や、施設・設備なども見直し、利用状況改善への対策を望む。

利用状況の推移とその結果を、どう評価しているのか。

**答** リフト乗車人数による利用状況では、スキー授業においては、ピークの平成11年度が2万6千人、28年度は1万3千人となっており、半減している状況だが、児童・生徒の減少が主な要因と考えている。



町民スキー場ロッジ

一般利用では、開設当初の10年度が7万3千人、28年度は2万6千人となっており、約4万7千人減少している状況にあるが、利用者の高齢化とスキー離れなどが減少の主な要因と考えている。

また、コースの新設など利用実態に合わせて事業を展開してきたが、利用者は年々減少している。

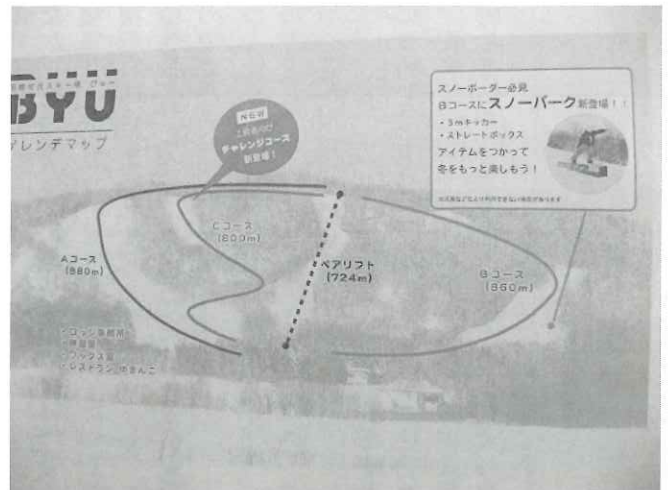
**問** 近年、スノーボード利用者が増えていると推察されるが、その実態はどうか、把握できているか。

**答** スキーとスノーボードに分けて利用者を把握していないので正確な利用人数はわからないが、現況としては、スノーボード利用者が増えている状況に無いと考えている。

**問** スノーボード利用者向けに設置されたスノーパークエリアのさらなる整備を求める声がある。スキーやスノーボード利用者の要望を把握し、スキーコース、リフト、ロッジ、駐車場など、諸施設

近年の実態としては、羽幌町体育協会加盟の羽幌スノーボード団体の利用や町外のスノーボード大会に参加するなど、活発に活動している児童・生徒の利用が中心となっている。

**答** 利用者の要望等については随時、スキー場の現場において索道員の意見も聞きながら可能な限り対応している。各施設の改善・改修についても、これまで長期整備計画により、毎年度各施設の状況を確認し行っているところであり、今年度は、リフトワイヤー交換工事を予定している。今後も計画的な整備を図っていきたい。



町民スキー場のゲレンデマップ

# 総務産業常任委員会

(4月26日開催)

## ◆町内企業行政視察

㈱ダイマル乳品

・会社概要説明(寺崎社長)  
・本社工場内見学  
《主な質疑》

【質問】年商、従業員数は。  
【回答】昨年度の決算で12億2000万円、従業員は80名。  
【質問】パート人員、社員住宅とも不足していると聞いているが。

【回答】2、3人程度は最低確保したい、従業員の高齢化もあり、それを含めるともつと必要となる。社宅は昨年度職員住宅等を譲り受け、6か所整備した。社宅が無いと派遣制度も活用できない。

【質問】繁忙期は深夜も工場稼働しているのか。  
【回答】近隣住民への騒音もあるのですが、ピークでも夜7、8時まで。

【質問】学校給食でも製品を利用されているのか。  
【回答】札幌市の小中学校、岩見沢、留萌、宗谷管内の一部で採用されている。



工場内のライン視察

㈱重原商店

・会社概要説明(重原社長)  
・本社工場内「3D急速冷凍機」見学  
《主な質疑》

【質問】この冷凍機は、一度にどれくらいの量を冷凍できるのか。  
【回答】甘エビであれば、300パックで1000キロ程度できる。

【質問】一般の冷凍機との違いは。また、これからのように利用していくのか。  
【回答】液体アルコールで冷凍するので、真空パックしている物を急速冷凍する。冷凍方式はさまざまあるが、甲殻

類の冷凍にはこれが適しているとのこと。町内企業等で共有して、羽幌ブランドとして売れる商品(生きた甘エビをそのまま冷凍等)を提供できればと考えている。  
【質問】1時間で凍結し鮮度を維持できるとのことだが、凍結した物を保存する設備は町内にあるのか。  
【回答】一定の冷凍温度を維持できるものが必要だが、町内にある設備はどうしても温度のばらつきがある。  
【質問】他の企業でこの設備を導入している所は。  
【回答】増毛町の水産会社や、根室の方でポタンエビで使う予定と聞いている。



3D急速冷凍機の説明を受ける

(5月16日開催)

## ◆除排雪業務

28年度除排雪の稼働実績、委託料実績、苦情件数、気象状況、除排雪事業用車両等の説明を受けた。

・除雪の稼働実績は、前年対比日数は79%、時間は72%となっており、最終の委託料実績は975万円少ない、9846万円となっている。苦情件数は、合計で41件あった。  
《主な質疑》

【質問】委託料実績について契約金額から最終的な実績額に至るまで、どのような経過と協議が行われたのか。  
【回答】実績払いでいくと、稼働時間は72%だが、待機職員の待機時間を積算し、必要分を上乗せして提示。組合と協議の結果、契約変更をした。

【質問】今、町の中に空き地が相当ある。そうした所中小路の雪を一時仮置きし、家の前に雪をなるべく置かないようできないか。  
【回答】町有地については十分利用している。民有地についても、今後検討していく。

◆のきのみき交流センターの運営状況  
・指定管理概要、前期間からの主な改善点、従業員の資質向上対策、レストランの魅力向上対策、職員の配置の説明、源泉湯設備工事の経過、湯量減少の原因及び対策の検討、温泉井湯湯試験及び動力許可申請の説明を受けた。  
《主な質疑》

【質問】指定管理期間10年はあまりにも長すぎると思うが。  
【回答】法的には定まってなく10年間というのは今回見直せないが、3年ごとの見直し協議については収支を見ながら取り進める。

【質問】宴会の料理等、あまり改善されていないと思うがどうとらえているか。  
【回答】今後も強く要望をしていく。

【質問】入浴料は下がったが、人数は増えていない。他に原因があるのでは。  
【回答】浴場の状態があまり良くないのも原因ではないか。今後、公共施設の中長期計画で劣化診断をし、それを踏まえて施設改修等と、サービスの向上を要請していく。

# 文教厚生常任委員会

(3月10日開催)

## ◆羽幌町環境基本計画

担当課より、第二次羽幌町の環境を守る基本計画の策定の作業経過、基本計画、今後の予定についての説明を受けた。

### 1 策定作業の経過

・庁内各課等並びに事業者に対して取組の実施状況のヒアリング調査

- ・町民検討会議 3 回開催
- ・環境審議会 1 回開催
- ・計画素案に対するパブリックコメント実施

### 2 第二次羽幌町環境を守る基本計画

・見直しに当たっての基本的な考え方として、更新、追加、調整、削除、字句の整理を行う。

### 3 今後の予定

・第2回羽幌町環境審議会 (平成29年3月14日)

◎羽幌町環境基本計画の見直しのポイント

- ① シーバードフレンドリー制度
- ② まちなかの緑



北海道海鳥センター

【質問】環境に配慮した設備を積極的に導入できるよう補助をするとあるが、補助制度を新設することか。

【回答】住民等の意見を聞きながら必要であるとなれば、積極的に検討したいということと掲載している。

### ③ 森里川海のつながり

### ④ 地域産業

### ⑤ 環境教育

### 《主な質疑》

【質問】どのように町民に周知していくのか。

【回答】ホームページでの公表を考えている。広報等とも相談し、広報に連載という形でできないか検討している。

【質問】環境に配慮した設備

を積極的に導入できるよう補助をするとあるが、補助制度を新設することか。

【回答】住民等の意見を聞きながら必要であるとなれば、積極的に検討したいということと掲載している。

(6月8日開催)

## ◆天売高校学生寮(下宿)

担当課より天売高校の現状、学生寮が必要な理由等についての説明を受けた。

### 1 経緯

平成27年度より全国を対象として、生徒募集事業を実施

(1)平成28年度2名、平成29年度2名が島外より入学

(2)移住希望者等への対応として、離島地区における住宅不足に伴う検討会議の中で、萌州建設所有の作業者向け宿舍の活用について協議

(3)平成30年度に向けた天売高校の生徒募集事業を進めるが、下宿先がない状況

(4)萌州建設所有物を天売高校の寮として活用する方向で検討

(5)土地について、所有者が売却の意思があることを確認

(6)建物・土地を購入する方向で検討

### 2 学生寮

(1)土地・建物の購入方法

- ・建物については、屋根の改修、断熱材の設置、寮としての部屋の改修等を所有者が行い、改修後に町で購入
- ・土地については、相続登記を所有者が実施した後に町で

購入

### 購入

(2)寮の運営方法(案)

・管理人を配置し、施設管理、食事提供、生徒指導及びサポートまでを業務委託により運営(光熱水費等の負担等、詳細は別途協議する。)

(3)生徒収容規模 7名

(男子5名、女子2名)

・寮生の入居については、平成30年度2名、平成31年度2名、平成32年度3名の予定とする

(4)購入費用等(6月補正分)

・建物 2006万円

・土地 111万円

・管理人募集、現地調査費用 53万円

◇合計 2170万円

(5)維持管理経費(推計案)

・寮費 一人月額4万円

・光熱水費等 780万円

### 3 天売高校の現状

(1)天売島内の児童生徒数 (平成29年5月1日現在)

・ちびっこランド

3歳〜6歳 計7名

・天売小中学校 計17名

・天売高校 計5名

※4名は島外からの入学

### 《主な質疑》

【質問】建物購入後、新たに工事の追加等の心配はないのか。

のか。

【回答】比較的程度がよい建物であり、今回の改修で使用に耐えられると思う。

【質問】現在、下宿している生徒は、新しい学生寮に移動するののか。

【回答】支障がないかぎり、卒業するまで、現在の下宿先に住むことになる。

【質問】管理人の募集は、何名で、どの範囲まで周知するのか。

【回答】できれば夫婦で島内在住の方を希望している。いない場合は島外からとなる。

【質問】運営経費を毎年600万円程度、町が支出することへの考えは。

【回答】町が負担する形になるが、高校があることで離島振興につながり、島内の仕事のなり手にもなるため、ある程度の負担はやむを得ない。



萌州建設(株)寄宿舎 (天売高校学生寮予定)

## 防災計画 調査特別委員会

(3月24日開催)

担当課より、地域防災計画の修正、防災のしおり作成、津波浸水想定、防災行政無線の整備などについての説明を受けた。

(1)地域防災計画の修正  
災害対策本部における消防機関の役割等を明確にする。  
(2)防災のしおり作成  
住民の基本的な責務である

平常時の備え、災害時の行動、その他防災に関する情報など、町民向けの冊子とした「防災のしおり」を刷新する。四コマ漫画、イラストを活用した、親しみやすく、分かりやすい内容で、防災・減災のための



栄町コミュニティセンター  
(指定緊急避難場所)

具体的な行動を掲載する。  
(3)日本海沿岸の津波浸水想定  
今年2月に北海道から日本海沿岸の津波浸水想定が公表されたことから、羽幌町でも想定に合わせ、ハザードマップを改定し、平成30年1月ごろに全戸配布、住民説明会開催を予定している。  
(4)防災行政無線の整備  
28年度にまとめた整備基本構想案比較検討資料を基に内部で協議し、基本構想を検討していく。  
《主な質疑》  
【質問】「防災のしおり」と「ハザードマップ」は関連性があり、同時に配布した方がいいのではないかと。  
【回答】道の公表が遅くなり、「しおり」だけでも早く知らせたいと考えた。  
【質問】福祉避難所とは。  
【回答】一時的に非難する指定緊急避難場所、さらに長期間避難生活となると指定避難所で、さらに高齢者や障がい者等で特別な配慮が必要な人を受け入れるのが福祉避難所、すこやか健康センター。ケアする人員の準備などが必要であり、災害時の最初から避難することはできない。

## 議会・行政改革 特別委員会

(4月16日開催)

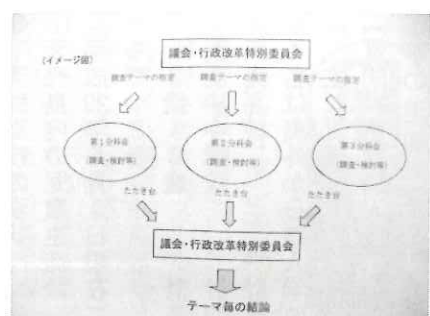
先の3月定例会で、名称も新たに設置された特別委員会としての初会議が開かれた。今後、協議・検討していく

テーマや進め方について、主に①議会機能の強化②住民への広報の在り方③情報公開④議会基本条例⑤行政改革⑥その他などを内容として話し合った。

(5月26日開催)

前回の協議を基に調査テーマを確定し、調査の進め方として3つの分科会を設置し、調査・検討等を行うこととした。テーマも関連し合う分野で3分割し、それぞれ指定したテーマごとに調査・検討等を行い、たたき台を作成した後、同特別委員会で協議・検討し、結論を見出していく。

- へ 第1分科会 へ
- ① 町議会会議規則、町議会委員会条例など
  - ② 一般質問
- 議会機能の強化



特別委員会の組織イメージ図



芽室町議会HPで羽幌町議会視察(7月3日)が紹介(詳細は次号で)

- へ 第2分科会 へ
- ① 議会報告会
  - ② 情報の公開
  - ③ 議会広報等
  - ④ 政策提言の在り方
  - ⑤ タブレット端末等の利用
  - ⑥ 意見書の取扱い方法等
- 広報・広聴

へ 第3分科会 へ

- ① 調査、研究の実施
- ② 羽幌町議会としての考え方等

医療問題調査  
研究特別委員会  
(5月26日開催)  
道立羽幌病院視察  
浅野貴博道議(留萌管内選出)とともに道立羽幌病院を訪問。病院内の設備、病床等を視察・見学した後、医師確保の状況、総合診療医、離島診療所との連携、病床状態の4階病棟の活用などについて、質疑・意見交換が行われた。

あしがき  
○議員任期も折り返し点を過ぎましたが、議会改革へのエンジンがかかり始めました。まとまった課題から改善をしていきたいと思えます。  
○「涼風(すずかぜ)の曲がりくねって来たけり」一茶が詠んだ夏を代表する一句。猛吹雪の冬も困りますが、猛暑の夏もつらい。ほどほどの夏となりますように。  
(金木)